

Let's talk:

# 嶋津幸樹の世界と繋がる IELTSブログ



英検 公益財団法人  
日本英語検定協会  
Eiken Foundation of Japan

BRITISH COUNCIL IELTS  
Official Test Centre

## 第 6 回「IELTS ライティング 7.0 はエベレストより高い壁!概要と勉強法」

嶋津幸樹

全 8 回でお届けする連載「世界と繋がる IELTS」、第 6 回の今回は IELTS ライティングについてお届けします。人生で最も悩まされたと言っても過言ではない IELTS ライティングは、英語母語話者が受験しても高得点がとれない過酷な試験です。大学院留学前の半年間、IELTS ライティングだけに心と時間を奪われた経験もあり、初めて執筆した IELTS の書籍はライティングの本であり、苦勞したからこそ受験者の皆様の気持ちに寄り添えます。今となっては 7.0 の壁を越えるロードマップが確立できました。そんなエベレストより高い壁とも言える IELTS ライティングの概要と勉強法について紹介します。

IELTS ライティングは 1 時間で、Task 1 ではグラフや表などを 150 語以上でまとめ、Task 2 ではテーマが与えられ、250 語以上で自分に意見をまとめる必要があります。

Task 1	グラフ、表などの情報を整理し、150 語以上で表現する。
Task 2	テーマが与えられ、250 語以上で自分の意見を述べる。

まずアカデミックライティングの「型」を身につけることが重要です。アカデミックライティングには従うべきルールがあり、主観的な (subjective) 感想や根拠なしの主張、口語表現 (colloquial expression) やスラング (slang)、決まり文句 (cliché) や諺 (proverb)、婉曲表現 (euphemism) の使用は厳禁です。また小数点を含む数字や 10 未満の数字は英文表記することも基本です。しかし 2021 年 11 月に英国のランカスター大学で開催された学会で、アカデミックライティングでは厳禁とされてきた省略形 (contraction) が 1994 年から 2014 年の間に 28% も増加しているというデータもあり、アカデミックライティングのルールも時代に合わせて変化しつつあるのも事実です。

アカデミックライティングに必要な語彙力について解説します。連載第 2 回の「IELTS スピーキング 8.5 は誰でも狙える!概要と勉強法」では基本英単語・基本英文法の重要性についてお伝えしましたが、IELTS ライティングでは高度な英単語を用いたコロケーションが高得点へのカギとなります。コロケーションは日本語では「連結語句」や「共起表現」と言われ、相性が良い単語同士を組み合わせることを指します。英字新聞や学術論文が

ら美しい型を引用し、自分で文章を作ることができれば、汎用性のあるオリジナルの型が出来上がります。拙著「コロケーションで身につく単語力! IELTS 必ず☆でる単スピードマスター」には実際に留学中に会った美しい表現や英字新聞や学術論文で実際に使われていた高度なコロケーションをテーマ別にまとめていますのでぜひご覧ください。

最後に豊富な表現に言い換えるパラフレーズ (Paraphrasing) について見ていきましょう。パラフレーズとは原文の主張を保ちながら他の言葉で言い換えることで、IELTS ライティングで高得点を取得するのにパラフレーズのスキルは不可欠です。例えば Task1 では指示文で頻繁に使われる show を represent に言い換えることができ、Task2 では good をより洗練された benefit に言い換えることができます。他にも now(今)の代わりに currently(現在)、use(使う)の代わりに utilise(使用する)、young children(若い子ども)の代わりに toddlers(歩き始めの子ども)のように同じ品詞に言い換えるのが基本です。

さらに高度なパラフレーズを見ていきましょう。benefit は名詞形で「利益」、動詞形で「利益を与える」という意味になりますが、品詞を変えて派生語の形容詞形の beneficial に言い換えることも可能です。また文法構造を変えて She can speak English so she will find it easy to get a job. を Her ability to speak English makes her highly employable. と無生物主語 (inanimate subject) を用いた英文に言い換えることも可能です。副詞を用いた It is undoubtedly true. は It must be true. と助動詞を用いた英文に言い換えることができます。さらに judge students based on the exam results 「テスト結果を基に生徒を判断する」という簡単な表現よりも、judge students through the lens of exam results 「テスト結果というレンズを通して生徒を判断する」にパラフレーズするという感じに、より洗練された表現を使うことで得点を稼げます。IELTS のライティングでは品詞や文法構造を言い換えて繰り返し (repetition) を避けることが鉄則です。

今回のポイントをまとめると「アカデミックライティングの型」「高度な英単語を用いたコロケーション」「豊富な表現に言い換えるパラフレーズ」です。果てしなく高い IELTS ライティング 7.0 の壁を越えると、新しいアカデミック英語の世界が見えてきますので、たくさんの美しい英文に触れアウトプットを繰り返していきましょう。次回は「IELTS エキスパートが伝授する IELTS ライティングで使える表現集」と題して 20 個の英単語を紹介します。

[IELTS 編集部トップに戻る](#)